

# 水稻新奨励品種「あさひの夢」の栽培法

## 1. 試験のねらい

平成12年に奨励品種（認定）に採用された、中生で良食味の水稲新品種「あさひの夢」の普通植における栽培法および診断基準を策定し現地普及の資とする。

## 2. 試験方法

- (1) 試験は平成11～12年の2カ年、農業試験場本場水田（厚層多腐植質多湿黒ボク土）で実施した。
- (2) 供試材料は新奨励品種「あさひの夢」で、比較品種として月の光を供試した。
- (3) 試験は普通植（5月25日播種、6月15日移植）で、下記要因を組合せて実施した。

要 因	処 理		
基肥量（N：kg/a）	0.4	0.6	0.8
穂肥量（N：kg/a）	0.4	（BB-NKC202使用）	
穂肥時期	出穂前23～26日	18日	12～13日

注）月の光は基肥量N:0.6kg/a、出穂前18日N:0.4kg/a穂肥。栽植密度は全て22.2株/m<sup>2</sup>。

## 3. 試験結果および考察

- (1) 基肥窒素量の違いによる茎数、葉色の差はほとんどみられず、施肥窒素、特に基肥窒素に対しては反応が小さい（鈍い）品種といえる。基肥窒素 0.8kg/aでは 0.6kg/aに対し玄米重および収量構成要素に関して施肥効果が認められず、逆に登熟歩合がやや低下し、玄米千粒重もやや軽く収量がやや低かった（表 - 1、図 - 1）。
- (2) 穂肥時期では、時期が早いほど穂数がやや多くなり、1穂粒数も増えて総粒数がやや増加したが、逆に穂肥が最も早い処理では登熟歩合が低下し、玄米千粒重も軽くなった（表 - 1）。
- (3) 玄米重は基肥窒素 0.6kg/a、穂肥時期が出穂前18日がやや高かったが、穂肥時期が遅くなると玄米中蛋白濃度が高くなり、乳白の発生率も高くなった。穂肥時期が出穂前23～26日と早まると玄米中蛋白が低くなり、乳白も少なくなるが千粒重が軽くなった（表 - 1、図 - 1）。
- (4) 以上の結果から、総粒数を多く確保するには穂数を400本程度が必要と考えられ、基肥窒素を 0.4kg/10aよりもやや増やしても玄米中蛋白濃度が高まらないため、基肥窒素は 0.5～0.6kg/a程度とし、穂肥時期は出穂前20～18日が良いと考えられる。
- (5) 普通植では登熟歩合が低下しやすいので、登熟歩合80%を目標とすると、適正総粒数は30,000～32,000/m<sup>2</sup>程度と判断される。その場合の収量は56kg/a程度になる。適正総粒数を得るための、生育途中の生育形質の好適範囲は、移植後30日では茎数、葉色、葉色×茎数値はそれぞれ520～540本/m<sup>2</sup>、5.2～5.4、2,800～3,000、最高分けつ期では530～550本/m<sup>2</sup>、4.6～4.9、2,400～2,600、出穂前25日では440～470本/m<sup>2</sup>、3.8～4.2、1,700～1,900である（図-2、3、4）。

## 4. 成果の要約

新奨励品種「あさひの夢」の普通植における施肥法は、基肥窒素は0.5～0.6kg/a、穂肥時期は出穂前20～18日が良い（穂肥量はBB-NKC202を用いて窒素成分で0.4kg/a程度）。また生育途中の適正生育量の目安を明らかにした。

（担当者 作物品種開発研究室 山口正篤、伊澤由行、池田二郎）

表 - 1 施肥法と収量、構成要素、蛋白含量 (2カ年平均)

品種名	基肥窒素	追肥時期	稈長 cm	穂数 本/m <sup>2</sup>	1穂 粒数	総粒数 *100/m <sup>2</sup>	登熟 歩合%	玄米重 kg/a	千粒重 g	玄米中 蛋白%
あさひの夢	0.4	-13	82	391	79	309	80.1	55.9	22.2	8.8
		-18	82	399	82	326	76.4	55.8	22.2	8.7
		-24	81	398	84	334	76.8	56.7	21.9	8.5
	0.6	-13	82	395	80	316	79.3	55.5	22.0	8.7
		-18	84	403	82	330	78.0	56.7	21.8	8.8
		-24	83	411	83	342	75.6	56.0	21.5	8.6
	0.8	-13	84	390	82	321	77.5	54.5	21.8	9.0
		-18	85	409	81	330	76.3	55.3	21.8	8.7
		-24	86	414	84	348	75.7	56.4	21.3	8.7
月の光	0.6	-18	85	362	77	280	73.4	45.6	21.7	9.3
基肥窒素	0.4		82	396	81	323	77.8	56.1	22.1	8.7
	0.6		83	403	82	330	77.6	56.1	21.8	8.7
	0.8		85	395	81	319	75.2	52.5	21.6	8.9
追肥時期		-13	83	392	80	316	79.0	55.3	22.0	8.8
		-18	84	404	82	329	76.9	55.9	21.9	8.7
		-24	84	407	84	341	76.0	56.4	21.6	8.6

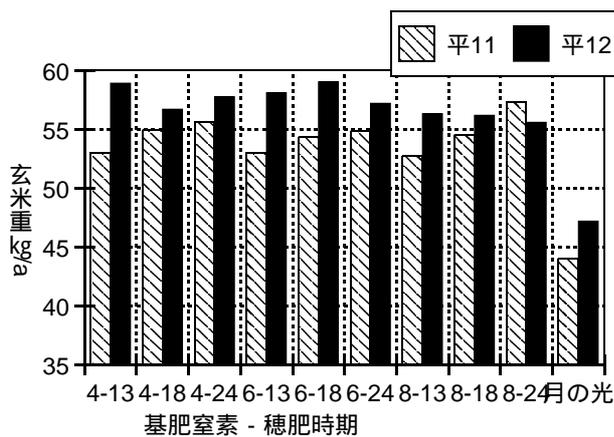


図 - 1 施肥法と玄米重

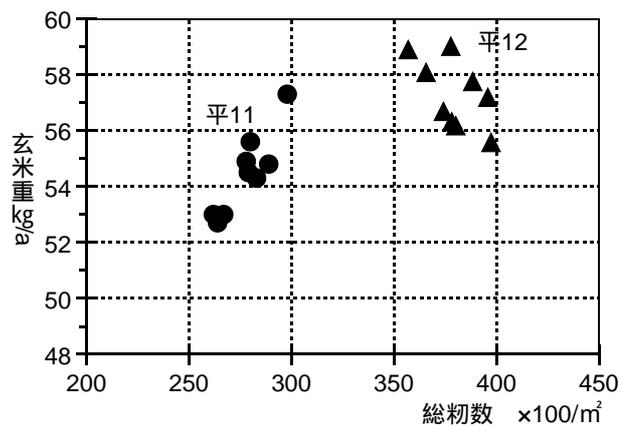


図 - 2 総粒数と玄米重

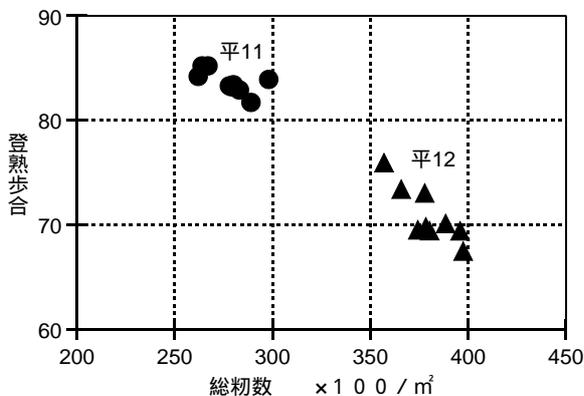


図 - 3 総粒数と登熟歩合

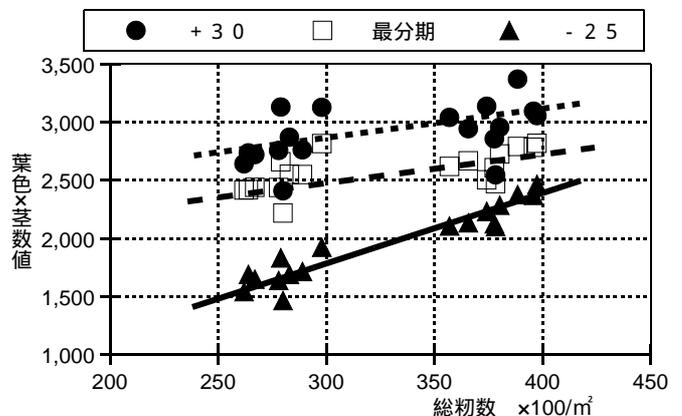


図 - 4 時期別総粒数と葉数×莖数値